

第14回栃木活性化サロン

テーマ「スタートアップ企業と地域企業との共創について

～新たなイノベーション創出と社会課題解決への挑戦～

◇ゲストスピーカー 村田発條(株) 技術部
技術2グループ グループリーダー 村上 悟視 氏

【1.オープンイノベーションプログラムの取組みについて】

- ✓宇都宮市が主催するオープンイノベーションプログラムとは、スタートアップ企業と市内中核企業が協力し、新規事業創出を目指すプログラム。
- ✓村田発條(株)は、売上の多くが自動車業界の老舗ばねメーカーであるが、自動車の電動化が進み、大幅にばねの売上が減少すると予測。そのため、**新しい分野へチャレンジする目的で、オープンイノベーションプログラムへ参加。**

【2.具体的な進め方について】

- ✓新規事業を創出するにあたり強みやリソースについて自己分析を実施。村田発條(株)の強みとして「多種多様なばね製造」、「自動車業界のノウハウの保有」、「炭素繊維複合材の製造」が挙げられる。
- ✓この結果を受け、強みやリソースを生かせる今後取組みたい分野として、発展が見込まれる「**航空宇宙分野（空飛ぶクルマ、ロケット等）**」、高齢化社会への対応として「**医療・介護分野（医療機器・介護装置等）**」、重要な国策である「**農業分野（農業機械・農機具等）**」の3つの分野を選定。

【2.具体的な進め方について（続き）】

- ✓当社の強みである3つの分野をベースに宇都宮市等とともに協業する会社を選定。候補企業として29社選定し、そのうち5社と面談を行い、**医療・介護分野のスタートアップ企業である(株)ナーステックラボ**と協業を決定。
- ✓(株)ナーステックラボとの協業を決定した理由としては、今後進めていきたい分野と合致したこと、自治医大発のスタートアップ企業であり、介護医療現場を熟知し現場ニーズを把握している会社であること、県内企業であり連携が取りやすいこと等が挙げられる。

【3.進捗状況について】

- ✓令和6年1月にナーステックラボとの協業が決定し、現在はアイデア発案やニーズを抽出している段階。**2025年秋に開催される医療・介護展示会（メディカルジャパン）への商品のサンプル等の提供を当面の目標**としている。
- ✓活動テーマとして、**介護×防災**に力を入れて取り組んでいる。震災や水害が発生した際に要介護者など避難が難しい方向けの商品である「**垂直避難対応商品（階をまたぐ移動を補助する商品）**」の開発を検討。
- ✓その他に予防介護をテーマとし、高齢化社会が進む中、介護が必要になる前に予防する「筋力向上商品」や「認知症予防商品」の開発等も検討。

【4.まとめ・今後の取組み】

- ✓オープンイノベーションプログラムを通して、**医療・介護分野の企業とスムーズに協業することができ**、医療・介護分野の事業を発展させていくにあたり、関係企業とのパイプ作りや医療・介護知識の習得等、今後の土台作りをすることができた。
- ✓中小企業1社でできることは限られているため、今後も様々な企業と壁を作らず、協業やコラボレーションを実施し新たな製品づくりをしていきたい。